

令和4年2月

関係各位

一般財団法人 経済調査会 北海道支部  
支部長 春口 勇雄～業界唯一の建設 IT・ソフトの専門情報誌～  
『建設 IT ガイド 2022』 発刊のご案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は当会事業に関し、格別のご高配、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、当会にて『建設 IT ガイド 2022』を発刊しましたのでご案内いたします。

本書は、業界唯一の建設 IT・ソフトの専門情報誌です。建設業界における IT 活用事例、BIM/CIM の情報を網羅しており、書籍購入者は無償で電子書籍も閲覧が可能となっております。今回、特集記事として「建設 DX、BIM/CIM」、「建築 BIM」を掲載しております。国土交通省が推進するインフラ分野の DX、北海道開発局における BIM/CIM の取り組み等をご紹介します。

国土交通省では、令和5年度までに小規模を除く全ての公共工事における BIM/CIM の原則適用を目指しております。

つきましては、皆様の業務にお役立ていただきたく、別紙案内資料をご覧の上、この度の発刊の機会に、是非ご利用賜りますようご案内申し上げます。

詳細は添付案内資料や図書販売サイト「Book けんせつ plaza」(<https://book.zai-keicho.or.jp>)をご参照下さい。

ご希望の方は裏面の図書専用申込書に必要事項をご記入の上、経済調査会北海道支部宛に FAX (011-241-2346) でお申込み下さい。

謹白

※ なお、既にご予約・お申込みの方に本状が届きました場合は、重複案内の非礼をお許しください。

お問合せ先

一般財団法人 経済調査会 北海道支部 業務担当 札幌市中央区北一条西3丁目2 井門札幌ビル 電話 011-241-9491 FAX 011-241-2346
--

## 図 書 専 用 申 込 書

申込期限：令和4年5月末

特 典：本申込書でお申込みの場合、送料450円をサービス

■専門図書（価格は全て税込。送料サービス）

図 書 名	発刊年月	価格(税込)	申込冊数
<b>NEW</b> 建設ITガイド2022	2022年2月	1,257円	冊

(※) お送りする図書に請求書と郵便振替用紙を同封します。

■価格情報誌（価格は全て税込。送料サービス）

書 誌 名	購読形態	価格(税込)	開始月または 利用月号	申込部数
月刊 積算資料	年12回(毎月)	38,964円	月号	冊
	最新月号のみ	3,981円	月号	冊
季刊 土木施工単価	年4冊(4・7・10・1月)	12,572円	月号	冊
	「土木施工単価の解説」付き	15,191円	月号	冊
	最新月号のみ	3,562円	月号	冊
季刊 建築施工単価	年4冊(4・7・10・1月)	16,552円	月号	冊
	年2冊(4・10または7・1月)	8,592円	月号	冊
	最新月号のみ	4,819円	月号	冊

※太線内の必要事項をご記入ください。

令和 年 月 日

ご住所	(〒 - )		
フリガナ			
会社名・部署名			
ご担当者名	TEL	( )	-
備 考			

2022

# 建設 IT ガイド

## 特集 1 建設DX、BIM/CIM

- 国土交通省が推進するインフラ分野のDX
- 3次元部品データの利活用について
- 地方発!i-Constructionチャレンジ事例 他

## 特集 2 建築BIM

- BIMにおける国際的なプロフェッショナル認証
- 発注者目線のBIM
- BIMデータで積算できるのか?
- 地方で進むBIM—地場ゼネコンによる設計事務所とのBIM連携—他

## 現場から生レポート! 建設ITユーザーレビュー

- BIM/CIM設計システムによるインフラDXの実現
- BIM-FMの実現を目指してデジタル活用による省力化・生産性向上の実践
- クラウドで黒板・写真を共有、工事写真業務の手間が7割減! 他

2022年注目の **建設ソフト名鑑**



電子書籍版同時発刊

## 特集1 建設DX、BIM/CIM

- 42 国土交通省が推進するインフラ分野のDX
- 46 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト(Project PLATEAU)
- 50 国土交通省におけるBIM/CIMの取り組み
- 54 北海道開発局におけるBIM/CIMの取り組み
- 56 中国地方整備局におけるBIM/CIMの取り組み
- 58 四国地方整備局におけるBIM/CIMの取り組みについて
- 60 九州地方整備局における三次元管内図の取り組み
- 62 発注者が推進するダムCIM -立野ダム工事事務所の事例-
- 64 公共土木工事における新たな技術への取り組みについて  
-「遠隔臨場」と「デジタルデータを活用した配筋検査」の試行の取り組み-
- 70 熱海市伊豆山土石流災害における点群データ活用
- 74 3次元部品データの利活用について -これからの部品データ利活用のあり方を探る-
- 78 地方発li-Constructionチャレンジ事例 i-Con第2世代を育て、生産性向上の裾野を広げる
- 80 橋梁維持管理における複合的3次元計測
- 84 積算資料単価データベース他 提携ソフト

## 特集2 建築BIM

- 90 建築BIM推進会議における検討や建築BIMの推進に向けた取り組みの状況について
- 94 BIMにおける国際的なプロフェッショナル認証  
-buildingSMARTのBIMプロフェッショナル認証が国内で始動-
- 98 発注者目線のBIM -BIMとはナンナノカ-
- 102 設計事務所にとってのBIMとは?
- 106 BIMデータで積算できるのか? -BIM・積算のデータ連携について-
- 110 施工BIMのワークフローとロードマップ
- 113 設計施工一貫方式におけるBIMワークフローの効果検証・課題分析  
-国土交通省BIM連携事業検証と運用について-
- 116 設備BIMにおけるIFC活用 -ワークフローを変革する7つのポイント-
- 120 地方における建設DXの実現を目指して -地域のネットワークを活用したBIM活用への取り組み-
- 122 地方の中小事業者の挑戦、BIMの次の活用
- 126 地方で進むBIM -地場ゼネコンによる設計事務所とのBIM連携-
- 128 設計初期段階でのコストマネジメントにBIM活用を  
-アドイン概算システム『COST-CLIP』のご提案-

# 現場から生レポート! 建設ITユーザーレビュー

USER REVIEW

- 132 平面線形と連動した縦横断作成、そして自動ペーロケ機能など線形検討業務では欠かせない APS-MarkIV
- 134 BIM/CIM設計システムによるインフラDXの実現 -BIM/CIM時代における設計の本質を考える-
- 136 TREND-POINT&TREND-COREをフル活用して国土交通省ガイドラインに沿った本格的CIM活用工事に挑戦
- 138 レーザースキャナーと小型UAVで橋梁を3Dデータ化、足場不要の事前調査と部材の精度向上で工事が効率化
- 140 自分の設計スタイルに合わせてくれる懐の広いBIMツール
- 142 Archicadを無理なく使いこなす地方ゼネコンの新時代に向けた挑戦
- 144 AI活用した土地査定システムで投資型マンションを供給する
- 146 鉄骨BIMによる構造図作図への試みと鉄骨量の把握
- 148 REAL4の特殊部品・ガイド図機能をフル活用し、業務の進め方も改革!!入力時間のコンパクト化・生産効率化を実現
- 150 BIM対応できるKAPシステムにより、作図作業の効率化を実現し、業務拡大を見据える
- 152 BIM-FMの実現を目指してデジタル活用による省力化・生産性向上の実践
- 154 AutoCADと互換CAD「IJCAD」のハイブリッド対応が大幅なコストダウンを実現
- 156 点群データに基づくBIMモデルを使用した電車線路設備の工事設計業務を効率化
- 158 スタートアップに最適な一貫構造計算プログラム
- 160 積算見積・拾いソフト導入で職場環境の変化に「デジタル技術」で対応
- 162 適正工期での受注を推進し将来にわたる担い手を確保するために -工程表作成ソフトの導入と効果-
- 164 デジタルツインで現場の「今」がわかる! 3Dデータの新たな価値・コミュニケーションツールとしての利用
- 166 建設現場の物理サーバーをクラウドストレージに移行 -社内外の関係者とリアルタイムの情報共有を実現-
- 168 +eYACHOの遠隔立会なら全過程リアルタイムに完結、eYACHOで飛躍的に進む業務のICT化
- 170 クラウドで黒板・写真を共有、工事写真業務の手間が7割減!
- 172 都市の風の流れを素早く見える化、訴求力のあるプレゼンテーションで気流シミュレーションの概念を変える

175

## 2022年注目の 建設ソフト名鑑

229 掲載製品・サービス索引&amp;資料請求シート

### 建設ITガイド2022 電子書籍版を発刊!

本誌読者は無料で閲覧できる電子書籍です。パソコン、iPad、iPhone、Android対応!  
iPadなどタブレット端末やスマートフォンに電子書籍をダウンロードして読むことができます。



建設ITガイド

検索

※本書に掲載されている製品名、サービス名、会社名等は、一般に各社の商標あるいは登録商標です。